

皆様へご連絡です。

報道などで行われているとおり、関東地方から風疹が全国に流行しています。どのような状況であっても、移植後には風疹ワクチンを接種してはいけません。ワクチン接種により風疹に感染する可能性があるからです。発熱、皮疹により風疹感染が疑われるときはグロブリンを使用します。感染すると重症化する可能性があるため移植医に相談してください。妊娠を希望されている女性レシピエントも、ワクチン接種はできません。妊娠を希望している男性レシピエントが配偶者への感染の防止が目的でも、ワクチン接種はできません。

情報提供

名古屋第二赤十字病院腎臓病総合医療センター
副部長 後藤 憲彦先生

- 風疹について
感染者の鼻汁に含まれる風疹ウイルスによる飛沫感染または直接接触感染による。
伝染期間は発疹の発症前 1 週間～発疹出現後 4 日間。
- 臨床症状
 - 潜伏期間は 2～3 週。
 - 初期症状（発疹の 1-5 日前）は微熱、頭痛、倦怠感、鼻水、せき、痛みのないバラ色の口蓋斑点。（典型的な 3 症状である紅色斑丘疹、発熱、頸部リンパ節腫脹が現れない場合、溶血性レンサ球菌による発疹、伝染性紅斑などとの鑑別を行う必要がある）
 - 顔、耳後部から、赤く癒合性のない点状の紅斑（発疹）が全身に広がり、多くは 3 日～5 日程度で消える。（20～25%は発疹が出現しない）
 - 発症者の約 25～50%に、38～39 度前後の発熱が 3 日程度続く。
 - 耳介後部、後頭部、頸部のリンパ節の腫れ。発疹出現 5～10 日前から数週間にわたりみられる。
 - 眼球結膜の軽度充血や、肝機能障害が見られる場合がある。
 - 小児では咽頭炎のみがみられたり、無症候性感染であることも多い。

ウィキペディアフリー百科事典HPより

<<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%A2%A8%E7%96%B9> 2013/04/10>